

# 患者の皆様へ

2021年9月22日

旭中央病院 外科

旭中央病院外科では、2020年度日本膵臓学会プロジェクト研究である下記の多機関共同研究に参加しています。この研究では、今後の治療に役立てることを目的に、下記の対象患者さんの診療情報を利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

**研究課題名:** 実臨床データを用いた膵癌術後補助化学療法の至適投与期間に関する検討

## 1. 研究の対象

当院にて2014年1月から2018年12月までの5年間に、外科的に切除され、切除標本の病理組織診断にて通常型膵癌と診断され、S-1 単独の術後補助療法を施行された患者さん。

## 2. 研究目的・方法

現在実施されている膵癌症例におけるS-1による術後補助療法の至適な開始時期および投与期間は不明です。そこで今回の研究は、膵癌切除後の術後補助療法 S-1 術後補助療法の施行方法(開始時期および投与期間)と予後との関連性を明らかにすることを目的としています。方法としては、本邦全国調査にて膵癌切除例のS-1 術後補助療法の施行状況および予後情報を集め、最も良好な予後が得られているS-1 術後補助療法の施行方法を同定します。

研究期間: 研究機関の長の許可日～西暦2024年3月31日

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

研究に用いる患者情報、以下の通りです。試料を研究に用いることはありません。

- 1) 患者背景: 性別(M/F)、年齢(歳)、PS(0/1/2-)、術前治療(-/+)、術前治療有の場合は、その内容(S-1 含む/含まない)、CA19-9(U/ml)、切除可能性分類(R/BR/UR)(※NCCN Guideline(2020)に基づく)
- 2) 手術因子: 手術日(日)、術式(PD/DP/TP)、手術時間(分)、出血量(ml)、術後合併症(Clavien-Dindo 分類 grade 3 以上)(-/+)(※Clavien-Dindo classification に基づく)
- 3) 病理: T(1/2/3/4)、N(0/1)、M(0/1)、Stage(IA/IB/IIA/IIB/III/IV)、腫瘍径(cm)、組織型(高分化型腺癌/中分化型腺癌/低分化型腺癌/ほか)、R(0/1)(※UICC-TNM 分類第8版)
- 4) S-1 術後補助療法: 開始日(日)、開始までの期間が70日以上の場合は開始が遅れた理由(術後合併症/PS 悪化/本人都合/ほか)、終了日(日)、終了状況(完遂/非完遂)、非完遂の場合は、その理由(再発/有害事象/PS 悪化/ほか(自由記載))、内服方法(補助療法期間中に最も頻度が高かったもの)(4投2休/2投1休/ほか(自由記載))投与量(補助療法期間中に最も頻度が高かったもの)(減量なし/1段階減量/2段階減量)

- 5) 予後:術後再発(-/+)、再発日(日)(再発がある場合のみ)、再発形式(局所/遠隔/両方)、最終確認日(日)、術後死亡(-/+)、死因(膵癌(原癌死)/ほか(自由記載))(死亡例のみ)

#### 4. 外部への試料・情報の提供

研究のために当院で集めた情報は研究代表機関である大阪大学大学院医学系研究科消化器外科学に提出されますが、その際は、あなたのお名前の代わりに研究用の番号を付けて取り扱います。あなたと研究用の番号を結びつける対応表のファイルには外部に洩れることのないように旭中央病院内で厳重に管理します。

#### 5. 研究組織

研究責任者:大阪大学大学院医学系研究科消化器外科学 教授 江口英利

研究分担者:大阪大学大学院医学系研究科消化器外科学 助教 富丸慶人

研究参加施設:日本膵臓学会認定指導施設

#### 6. 問い合わせ先

大阪大学大学院医学系研究科消化器外科学 助教 富丸慶人

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2-E2

TEL: 06-6879-3251 FAX: 06-6879-3259

旭中央病院における研究責任者

外科:宮田 陽一

0479(63)8111 (代表)

※試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、上記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。